

【概要版】根室市下水道中期ビジョン（2021～2030）

☆ 策定の趣旨

平成21年度に国や北海道の下水道施策（ビジョン）の方針に基づき、根室市の下水道が目指すべき方向を示すものとして「根室市下水道中期ビジョン」を策定しましたが、策定から10年が経過し、下水道事業への市民ニーズや計画も多様化していることから、効率的な施設整備と維持管理及び安定的な経営を図るため、事業の進捗状況を整理し、新たな施策の方向性を加えた「根室市下水道中期ビジョン（2021～2030）」を策定しました。

☆ 下水道の現状と課題

◇ 下水道経営について

【現状】

令和元年度決算では、収益的収支で純損失を計上しましたが、実際の現金の収支は均衡が保たれており、資金的には事業運営が可能な状況となっています。

【課題】

今後、人口減少に伴い下水道使用料収入が減少する見込みであり、適切な投資や効率・効果的な事業運営に努めるなど、運営資金を確保していくことが必要です。

◇ 下水道ストックについて

【現状】

当市の下水道施設は、昭和46年度から整備を行い、令和元年度末現在で、管路施設の延長は污水管が120.6km、雨水管が18.6km（雨水）であり、下水終末処理場1箇所、ポンプ場施設3箇所となっています。

【課題】

終末処理場やポンプ場については、引き続きストックマネジメント計画に基づき改築更新を進める必要があります。管路施設については、計画的な調査や点検を実施し、補修等により事故等を起こさないようにする必要があります。

◇ 汚水処理について

【現状】

下水道処理人口普及率や、汚水処理人口普及率は、全道・全国平均より下回っていますが、下水道の水洗化率は前回のビジョン策定時より改善しています。

【課題】

公共用水域の水質保全のため、下水道で整備している地区については、更なる水洗化率の向上を図り、下水道の未普及となっている地区については、合併処理浄化槽により整備することによって、汚水処理人口の増加を図る必要があります。

◇ 災害対策について

【現状】

大規模地震においても業務継続するための「根室市下水道業務継続計画（根室市下水道BCP）」を作成しています。また、ねむろハザードマップでは、ポンプ場施設について津波・高潮等の浸水被害が予測されています。

【課題】

終末処理場等における設備の改築更新を行い、通常処理の継続を優先することとしています。耐震補強についても重要な課題と考え、手法や時期についての検討が必要です。また、長期間の停電に対応するためBCPの改善、津波等の浸水被害が想定されるポンプ場施設において、耐水化計画を作成する必要があります。

◇ 下水道資源・資産の利活用について

【現状】

消化工程で発生する消化ガスについて、従来重油を使用していた機器の燃料に使用することにより、施設の有効利用を図っています。また、処理後に発生する汚泥については、脱水・乾燥を経て焼却して埋立処分しています。

【課題】

汚泥の処分方法について、堆肥化等による緑農地利用や建設資材としての利用を検討することや、消化ガスについて、従来重油を使用していた機器の燃料に使用することにより、更なる施設の有効利用を図る必要があります。

☆ 下水道の目指すもの

根室市の最上位計画である「第9期根室市総合計画」の基本理念や施策と前ビジョンの基本理念を照らし、方向性に大きな変更はないことから、従来の理念を踏襲し、次世代へ豊かな水環境をつないでいくことを目指し行動していくため、基本理念を次のとおりとし、3つの基本方針をあげます。

【基本理念】 次世代へ豊かな水環境をつなぐ下水道



【基本方針】 健全な下水道経営
安心安全な暮らしの実現
美しく豊かな水環境の創造

☆ 下水道の取り組み

3つの基本方針

1 健全な下水道経営

持続可能な経営基盤と、健全な下水道経営を目指します。市民と情報の共有や、地域のニーズを把握し、また市民参加の提供を進めていきます。

2 安心・安全な暮らしの実現

計画的に維持管理を行い、事故を未然に防止し、下水道サービスを持続的に提供していきます。自然災害である地震や浸水被害及び停電の発生時も安定して機能する下水道を目指します。

3 美しく豊かな水環境の創造

下水道により汚水を処理することで、今後も生活環境の改善と、良好な水環境の保全に努めていきます。温室効果ガス排出量の削減等を目的として省エネルギー対策、創エネルギー対策などに取り組み、豊かな水環境づくりを進めていきます。

7つの施策

I 経営基盤・経営計画の強化、業務体制の効率化

II 「見える下水道」の推進

III 下水道施設の維持管理の適正化

IV 災害につよい下水道の推進

V 汚水処理の未普及解消

VI 施設の有効利用の促進

VII 温室効果ガス排出量の削減

7つの施策目標

経営の健全化による持続可能な事業推進に努めます。

市民との情報共有による事業経営を進めます。

ストックマネジメント手法に基づく計画的な維持・更新を実施します。

高潮等の被害が想定されるポンプ施設について、耐水化計画の策定を進めます。

汚水処理人口普及率
78.6% (R元)
83.6% (R12)
を目指します。

下水道施設の有効利用を図ります。

地球温暖化対策の推進に貢献します。

☆ 下水道の事業計画

7つの施策	具体的施策	R3	R4	R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	
I 経営基盤・経営計画の強化、業務体制の効率化	経営戦略の策定・実施	→										
	テレビカメラ調査+止水対策	→										
	技術の習得・継承	→										
	施設以外の包括的民間委託の実施	→										
	広域的管理手法の検討	→										
	管路維持管理システムの活用	→										
II 「見える下水道」の推進	ねむろのみずの発行	→										
	イベント開催による啓発・情報公開	→										
III 下水道施設の維持管理の適正化	ストックマネジメント計画策定・実施（施設）	→								→		
	下水道施設の改築更新（未普及解消）	→										
	下水道施設の改築更新（水質保全）	→										
	下水道施設の改築更新（資源循環）	→										
IV 災害につよい下水道	下水道施設の改築更新（地震対策）	→										
	汚泥処理施設の耐震診断の検討	→										
	管理棟・汚泥棟の耐震補強の検討	→										
	ポンプ場の耐震補強の検討	→										
	下水道BCPの継続的な訓練	→										
	豪雨情報を活用した浸水被害防止対策	→										
	雨水ポンプ場における設備更新						→					
V 汚水処理の未普及解消	内水ハザードマップの検討	→										
	継続的な啓蒙活動	→										
VI 施設の有効利用	衛生部局と連携した汚水処理	→										
	水道部局と連携した維持管理の効率化	→										
VII 温室効果ガス排出量の削減	汚泥消化ガスの有効利用	→										

☆ 下水道財政の見通し

◆収益的収支

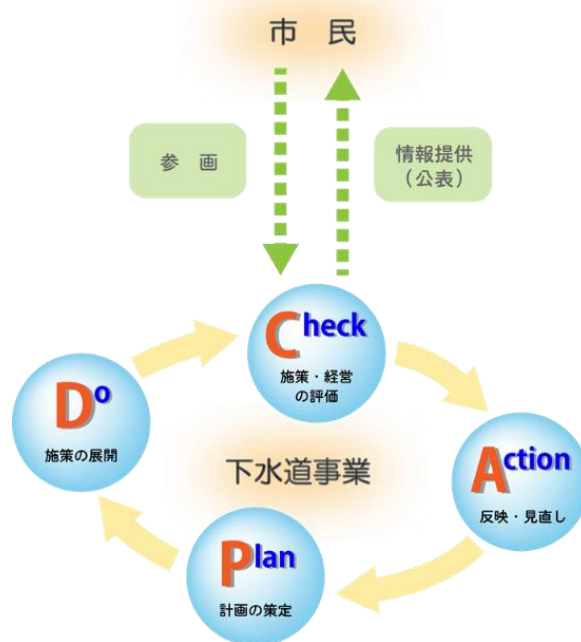
収入に関しては、人口減少を要因とする有収水量の減少に伴い、使用料収入は減少傾向で推移し、一方支出については、支払利息は減少していくものの、施設の維持管理費用の増加が見込まれ、支出全体では増加傾向で推移するものと予測されます。

◆資本的収支

施設を整備・改築するために必要な支出と、その財源となる収入（国庫補助金等）であり、今後も支出に対して収入が不足することが見込まれるため、内部留保資金を充てることなどにより事業を運営していきます。

☆ ビジョンの進行管理

根室市下水中期ビジョン（2021～2030）は、今後 10 年間の将来予測に基づき、令和 3～12 年度までの期間における運営方針と、目標達成の為に具体的な計画や整備目標等を定めたものであり、事業を取り巻く環境に変化があった場合については、期間にこだわりなく見直しを行います。



根室市下水道中期ビジョン（2021～2030）に関する問合せ先

根室市建設水道部下水道課

〒 087-8711 北海道根室市常盤町 2 丁目 27 番地

TEL : (0153) 23-6111 内線 2003

HP : www.city.nemuro.hokkaido.jp （詳細はホームページからご覧いただけます）

e-mail : kes_gesui@city.nemuro.hokkaido.jp